

学校だより



# みなみたなか

平成24年9月28日  
練馬区立南田中小学校  
校長 梶谷 雅弘

## 平成24年度 全国学力・学習状況調査結果のお知らせ

校長 梶谷 雅弘

4月17日に実施された文部科学省の全国学力・学習状況調査では、本校の6年生が、抽出校として（練馬区では小学校11校が該当しています。）調査に参加しました。8月にその結果が公表されましたので、本校の結果を次の通りお知らせいたします。なお、この調査結果は、あくまでも学力・学習状況の特定の一部です。学校では、この調査結果を授業改善・充実に役立ててまいります。

### 1. 各教科の平均正答率（％）

	国語A知識	国語B活用	算数A知識	算数B活用	理科	正答率合計	国算理平均
<b>南田中小6年</b>	<b>87.3</b>	<b>62.2</b>	<b>73.1</b>	<b>63.2</b>	<b>61.5</b>	<b>347.3</b>	<b>69.46</b>
練馬区	84.0	58.0	75.0	62.7	63.5	343.2	68.64
東京都（公立）	83.4	57.8	74.8	62.6	62.9	341.5	68.30
全国（公立）	81.6	55.6	73.3	58.9	60.9	330.3	66.06

### 2. 国語A:主として知識 分類・区別集計結果

分類	区分	平均正答（％）		
		南田中小6年	東京都（公立）	全国（公立）
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	<b>88.3</b>	82.1	79.4
	書くこと	<b>66.7</b>	61.6	57.5
	読むこと	<b>89.9</b>	84.9	82.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<b>89.7</b>	87.3	86.3
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	<b>52.6</b>	45.9	43.2
	話す・聞く能力	<b>88.3</b>	82.1	79.4
	書く能力	<b>66.7</b>	61.6	57.5
	読む能力	<b>89.9</b>	84.9	82.1
問題形式	言語についての知識・理解・技能	<b>89.7</b>	87.3	86.3
	選択式	<b>80.7</b>	76.5	72.5
	短答式	<b>89.3</b>	85.5	84.3

### 3. 国語B:主として活用 分類・区分集計結果

分類	区分	平均正答率（％）		
		南田中小6年	東京都（公立）	全国（公立）
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	<b>75.4</b>	65.6	63.0
	書くこと	<b>50.2</b>	48.1	46.8
	読むこと	<b>61.8</b>	58.9	55.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<b>61.4</b>	55.6	55.2
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	<b>54.4</b>	50.4	48.5
	話す・聞く能力	<b>75.4</b>	65.6	63.0
	書く能力	<b>50.2</b>	48.1	46.8
	読む能力	<b>61.8</b>	58.9	55.7
問題形式	言語についての知識・理解・技能	<b>61.4</b>	55.6	55.2
	選択式	<b>67.7</b>	62.3	60.1
	短答式	<b>47.4</b>	48.4	45.0
	記述式	<b>54.4</b>	50.4	48.5

### 4. 算数A:主として知識 分類・区別集計結果

分類	区分	平均正答率（％）		
		南田中小6年	東京都（公立）	全国（公立）
学習指導要領の領域	数と計算	<b>75.4</b>	76.4	75.0
	量と測定	<b>67.1</b>	73.1	71.7
	図形	<b>72.5</b>	75.1	72.6
	数量関係	<b>73.1</b>	74.7	74.4
評価の観点	数量や図形についての技能	<b>86.0</b>	85.3	84.9
	数量や図形についての知識・理解	<b>63.8</b>	67.2	64.9
問題形式	選択式	<b>52.2</b>	61.2	58.5
	短答式	<b>78.7</b>	78.4	77.2

## 5. 算数B:主として活用 分類・区分別集計結果

分類	区分	平均正答率(%)		
		南田中小6年	東京都(公立)	全国(公立)
学習指導要領の領域	数と計算	58.2	57.1	54.0
	量と測定	66.1	63.9	60.8
	図形	69.6	66.8	63.3
	数量関係	53.1	53.7	49.5
評価の観点	数学的な考え方	54.6	54.4	50.4
	数量や図形についての技能	80.7	80.2	77.6
	数量や図形についての知識・理解	71.1	68.8	65.2
問題形式	選択式	73.1	72.1	68.0
	短答式	80.7	80.1	77.1
	記述式	39.6	39.3	35.3

## 6. 理科: 分類・区分別集計結果

分類	区分	平均正答率(%)		
		南田中小6年	東京都(公立)	全国(公立)
問題	主として「知識」に関する問題	71.9	70.9	69.1
	主として「活用」に関する問題	57.2	59.6	57.6
学習指導要領の領域	物質	62.2	64.9	61.4
	エネルギー	62.5	61.9	59.8
	生命	71.2	69.4	68.6
	地球	46.0	52.1	50.6
評価の観点	科学的な思考・表現	57.2	59.6	57.6
	観察・実験の技能	50.0	49.6	46.2
	自然事象についての知識・理解	80.7	79.4	78.2
問題形式	選択式	65.1	67.4	65.0
	短答式	66.4	65.2	63.9
	記述式	33.3	36.0	34.5

## 7. 全国学力・学習状況調査結果と考察

### 1) 各教科の平均正答率について

- ・国語Aの主として知識では、全国平均を5.7ポイント、区の平均を3.3ポイント上回っています。国語Bの主として活用では、全国平均を6.6ポイント、区の平均を4.2ポイント上回っています。
- ・算数A主として知識では、全国平均を0.2ポイント、区の平均を1.9ポイントともに下回っています。算数B主として活用では、全国平均を4.3ポイント、区の平均を0.5ポイント上回っています。
- ・理科では、全国平均を0.6ポイント上回っていますが、区の平均を2ポイント下回っています。
- ・問題数が教科によって違うため、一概に比較は出来ませんが、各教科の平均正答率の平均で比べてみると、全国の平均を3.4ポイント、区の平均を0.82ポイントそれぞれ上回っています。
- 国語では、ABともに、全国・区の平均をともに上回っていました。これは、練馬区立南田中図書館と連携をし研究に取り組んできた成果の表れだと評価しています。これからも、区立南田中図書館と連携をし、様々な支援を頂きながら児童の読書生活の充実や読書や質の向上を図り、学力の向上を目指して参ります。
- 算数Aの主として知識が、全国・区の平均を下回っています。算数Bの主として活用では、全国や区の平均を上回っています。既習事項を活用しながら課題に取り組み、主体的に解決していく活動をこれからも取り入れ、内容や用語を確実に理解出来るようにし、新たな課題を解決する時に既習事項を活用できるように指導に努めて参ります。

### 2) 各教科の分類・区分別集計結果と考察並びに授業改善について

#### ① 国語

- ・正答率の低い設問を見ていくと、「新聞の報道記事のリードに必要な事柄を整理し、一文にまとめて書く。」「記事の特徴の説明として適切なものを取り出して書く。」「編集者の意図を説明したものとして適切なものを選択する。」「二つの記事に書かれている内容を結びつけながら読み、理由となる事実を基にして自分の考えを記述する。」などとなっています。
  - 目的や意図に応じ、必要となる事柄を整理して簡潔に書く指導。
  - ・目的に応じ、雑誌や読んだ記事の特徴を捉えられるようにする指導。
  - ・編集者の意図を捉える指導。複数の記事を結びつけながら読み、事実を基にして自分の考えを持たせる指導。
- 等の指導を心掛けこれからも分かりやすく丁寧に児童の指導に当たって参ります。

#### ② 算数

- ・正答率の低い設問を見ていくと、計算問題では、「 $4.6 - 0.21$ 」が66.7%と低い正答率でした。

「120 cmの赤いテープの長さが白いテープの長さの0.6倍に当たるとき、二つのテープの長さを表している図を選ぶ問題。また、白いテープの長さを求める問題」の正答率が、それぞれ29.8%、36.8%でした。「示されたはがきの面積は平方センチメートルかを選ぶ問題。」「三角形の底辺のに対応する高さを選ぶ問題。」が、それぞれ、56.1%、52.6%でした。「代金630円に対して、1030円よりも1130円を支払ったときの方が、おつりの硬貨の枚数が少なくなるわけを書く問題。」の正答率は、42.1%。「高さの違う中型の跳び箱を70cmの高さにすることが出来るか判断し、そのわけを書く問題。」の正答率は、35.1%。「はかりの目盛りと一人分の材料と分量を基に、班の人数分のご飯を作るために必要な水の重さの求め方と答えを書く問題。」の正答率は、38.6%。「示された表から、合計の人数を基にした乗れる人数の割合は、男子と女子ではどちらの方が大きいかを判断し、その理由を書く問題。」の正答率は、21.1%でした。

- 小数の四則計算が確実に理解できるように繰り返し指導をしていく。
  - 図を用いて数量の関係を理解できるように指導していく。
  - 「倍」という表現を含む文章題の数量関係を適切に捉え、演算決定ができるように指導していく。
  - 長さについての感覚を基に、面積の大きさの見当を見つけることが出来るように指導をする。
  - 三角形の底辺と高さの関係を確実に理解できるように指導する。
  - 事象を観察をし、それを式に表したり、式を読んだりすることが出来るように指導する。
  - 判断の根拠に必要な情報を取り出し、過不足なく説明が出来るように指導する。
  - 筋道を立てて、必要な数量を求めるために情報を適切に把握することが出来るように指導する。
  - 日常の場面において、割合の考えを用いて比べるよさを理解できるように指導する。
- 等の指導を心掛けこれからも児童の指導に当たって参ります。

### ③ 理科

- 正答率が低い設問は、「スイカの受粉と結実の関係を調べる実験について、適切な実験方法を選び、選んだわけを書く問題。」でした。その正答率は、28.1%でした。「水の状態変化の説明として、当てはまる言葉を選ぶ3題の問題。」の正答率は、それぞれ、56.1%、47.4%、36.8%でした。「方位磁針の適切な操作方法を選び、その時の太陽の方位を書く問題。」の正答率は、26.3%でした。「かげの観察記録」を基に、木の影の長さの変化を表したグラフを選ぶ問題。」の正答率は、38.6%でした。「天気の様子と気温の変化とを関連づけて、気温の変化を表したグラフを選び、選んだわけを書く問題。」の正答率は、12.3%でした。
  - 科学的な言葉や概念を使用して考察したり説明したりする指導を丁寧に行う。
  - 観察、実験について見直し振り返りなど、批判的に考察するよう指導する。
  - 水の状態変化を「エネルギーの見方」として捉え、エネルギーの利用について考察を深めるよう指導をする。
  - 気象現象について、継続的な観察を通して得られたデータを分析して考察するよう丁寧に指導をする。
  - 天気の変化に興味・関心をもち、気象情報を分析して、日常生活に活用できるよう指導をする。
  - 気象情報を分析して、天気の様子や変化を予想できるよう指導をする。
- 等の指導を心掛けこれからも分かりやすく丁寧に児童の指導に当たって参ります。

区立南田中図書館と連携し研究に取り組んできた成果が現れ、特に国語のA知識・B活用ともに、全国の平均正答率を大きく上回っています。

これからも、区立南田中図書館と連携し、全国最高水準の支援を頂きながら日々の授業改善に努め、活字に親しむ学校づくりを進めて参ります。皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

## 南が丘中学校の吹奏楽部の皆さんによる素晴らしい演奏を聴かせていただきました。



南が丘中学校吹奏楽部の皆さんの演奏会

演奏を目標にして、みんなで力を合わせ自分たちの手で、素敵な音楽を作ろうと決意を新たに練習に取り組み始めたところです。吹奏楽部の皆様、本当に有り難うございました。

練馬区では、今年度から平成33年度までの10年間の練馬区教育振興基本計画に小中一貫教育の推進を掲げ、区を挙げて研修会を開催し準備を進めているところです。

この主旨も踏まえ、11月10日（土）の音楽会に向け、南が丘中学校の長谷川校長と吹奏楽部顧問の檜木先生にご無理をお願いし、9月8日（土）に南が丘中学校の吹奏楽部の皆さんにお越しいただき、素敵な素敵な演奏を聴かせてもらいました。

小学生のために、一生懸命演奏してくれた中学生のひたむきな姿に心を打たれました。そして、迫力のある素敵な演奏を聴かせていただき全校児童と素晴らしいひとときを過ごすことが出来ました。演奏を聴いた後、南が丘中学校のあの吹奏楽部の出来ました。演奏を聴いた後、南が丘中学校のあの吹奏楽部の出来ました。演奏を聴いた後、南が丘中学校のあの吹奏楽部の出来ました。